

いしがき

二〇一六年十一月一日発行 第五号

平成二八年度総会開催

石垣市シルバー人材センターの、平成二八年度総会が去る五月二八日に市老人福祉センターで開催されました。以下その概要です。

◎ 平成二七年度事業報告

一・雇用によらない就業機会の確保・提供事業

地域社会へ様々な方面からシルバー人材センター事業を周知し、地域の理解を図るとともに会員の就業機会の確保に努めた。

二・職業紹介事業

雇用による、就業を希望する会員及び地域の高齢者への、職業紹介による就業機会の提供に努めたが結果として求人数、求職者数ともに〇件であった。

三・高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能を付与する講習事業

会員の技能や知識の向上を図る為、講習会を開催した。

四・普及啓発事業

(1) 地域の高齢者へシルバー人材センター

事業の周知を図った。

(2) ホームページによる情報提供を行った。

(3) 行政及び関係団体等との連携強化を図った。

五・安全・適正就業推進事業

安全・適正就業委員会を開催し、安全・適正就業委員会と安全推進委員の連携により、安全・適正就業巡回パトロールの実施回数を前年度より増やし、事故防止対策を行った結果、事故件数四件となり前年度比九件の減となった。

六・調査研究事業

地域社会へのニーズに対応した事業展開を実施するために、入会説明参加者へアンケートによる高齢者の就業に対する意識調査に関する調査を実施した。アンケート提出者二〇名。

七・就業開拓・拡大事業

八・企画提案方式による事業

本事業の国庫補助金交付は終了したが、地方公共団体と連携し今年度も引き続き「子ども学習支援事業」を実施した。

九・会員拡大事業

十・社会参加促進事業

ボランティア活動を通して高齢者を対象に社会参加稼働の機会を提供した。

十一・組織強化及び活性化

(1) 運営体制

(2) 事務局体制の充実

(3) 会議

(4) その他の取り組み

年齢別・性別会員数 日二八年三月三十一日

年齢	男	女	計	割合
60歳未満	0	1	1	0%
60歳～64歳	28	7	35	8%
65歳～69歳	89	41	130	32%
70歳～74歳	64	44	108	26%
75歳～79歳	53	32	85	21%
80歳以上	35	17	52	13%
計	269	142	411	100%

◎ 平成二八年度事業計画

一・基本理念

石垣市に居住する高齢者が自主的な組織参加と労働能力の発揮により、組織の組織の基本理念「自主・自立・共働・共助」のもとにセンターの発展を推進し、地域の担い手として高齢者の活力及び地域社会の活力向上を目指す。

一・基本方針

(1) 高齢者の入会促進と社会参加を推進するため、就業機会の確保拡大に努める。

(2) 安全・適正就業の推進に努める。

(3) 組織強化及び活性化を図るとともに、財政基盤の強化に努める。

(4) 公益法人として、公益目的事業の着実な実施と法に準拠した運営に努める。

三・数値目標

会員数	457人
新規入会者数	55(人)
就業延べ人数	36,560(人/日)
就業率	84%
受注契約額	158,100,000(円)

四・実施計画

- (1) 雇用によらない就業機会の確保・提供
有料職業紹介事業
- (2) 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）
- (3) 高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能を付与する講習事業
- (4) 普及啓発事業
- (5) 安全・適正就業推進事業
- (6) 調査研究事業
- (7) 就業開拓・拡大事業
- (8) 会員拡大事業
- (9) 社会参加促進事業
- (10) 組織強化及び活性化

安全大会が開催される

去る七月十二日に、老人福祉センターで安全・適正就業推進大会が開催されました。

一・趣旨

シルバー人材センター事業を推進する上で、会員の健康、安全で適正な就業の確保が基本である。しかしながら、会員数及び事業実績の拡大に伴いセンター会員の就業中、及び就業先等への往復時途上を問わず事故が発生し、その対策強化に重点的な取組が必要である。

よって、安全・適正就業の徹底を図り事故のない環境づくりを推進すべく「安全・適正就業強化月間」を実施する、

二・安全・適正就業強化月間

平成二八年七月一日から七月三十一日までの一ヶ月間とする。

三・平成二八年度安全就業全国統一スローガン

・「見逃すなヒヤリで済んだあの経験」
（平成二六年度から平成二八年度までの全国共通スローガン）

・「ネット・ヘルメット・足元注意・事故予防の三点セット」
（石垣市シルバー人材センタースローガン）

四・当センターの取組み事項

- (1) 安全・適正就業委員会の開催
- (2) 安全大会の開催（内容：別紙 安全・適正就業推進大会次第）
- (3) 安全パトロールの実施
安全対策日（毎週第三木曜日）の実施
（機械・器具及び安全保護具の点検整

（備等）

- (4) 安全スローガン等の提出
- (5) 安全就業に関するリーフレット等配布
- (6) 緊急対応マニュアルの作成・啓発

平成二八年度安全・適正就業推進実施計画

1. 目的

事故のない魅力あるシルバー人材センターを実現するため、「安全・適正就業推進実施計画」を定め、安全かつ適正な就業の徹底を図ることとする。

2. 管理体制の確立

- (1) 安全適正就業委員会の開催（年間二回）
- (2) 安全適正就業パトロール推進員の配置

3. 安全・適正就業の啓発

- (1) 安全・適正就業強化月間（七月）の設定及び実施

(2) 安全・適正就業推進大会の開催

- (3) 無事故継続記録の管理と提示（安全掲示板の設置）

4. 安全管理教育の実施

- (1) 沖縄県シルバー人材センター連合（安全・適正就業パトロール指導員）の訪問指導及びパトロールの実施
- (2) 研修用教材「刈払機の安全作業」等教材の活用

5. 会員の健康管理の推進

- (1) 入会時の健康状況の確認
- (2) 定期的な健康診断の奨励
- (3) 加齢による身体機能低下の自覚促進

6. 安全就業の推進

- (1) 現場における危険予知ミーティング

- (1) (K・Y・M)の徹底
- (2) 安全保護具(ヘルメット等)の着用徹底
- (3) 「作業中」表示板等の設置促進
- (4) 安全・適正就業推進員による就業現場の安全点検と指導
- (5) 事故要因の分析と防止策の検討及び推進
- (6) 安全対策日の実施促進
- (7) 「安全就業基準不履行等会員に対する措置」の徹底
7. 適正就業の推進
 - (1) 「適正な運営のための受注基準」
 - (2) 発注者からの指揮命令の排除
 - (3) 発注者の従業員との混在就業の排除
 - (4) 現場確認及び自主点検表の活用
 8. その他
 - (1) 安全・適正就業に関する好事例等の情報を収集及び提供



シルバー人材センターが 義援金七万六千円余 熊本地震

公益社団法人石垣市シルバー人材センターの大松安元理事長は五月三十日午前、石垣市役所を訪れ、熊本地震の災害復興に役立てて欲しいと義援金七万六五〇〇円を中山義隆市長に手渡した。義援金は、同センターの会員、役員らに支援を募り集められた。
(H二八年六月一日付け 八重山日報提供)



奉仕活動及び

グラウンドゴルフ大会

十月十五日(土)、当センターにおいて「事業普及及啓発促進月間活動」の一環として、奉仕活動及び事業啓発用チラシ配布と親睦交流グラウンドゴルフ大会が開催されました。奉仕活動参加者七一名は八時三〇分〜十時四五分まで。ご苦勞様でした。

清掃作業の範囲は、当センターから平得交差点までで、草刈と合わせてトラクター一台分のゴミが集まりました。

親睦交流グラウンドゴルフ大会は、十一時から 熱戦が繰り広げられ、一打ごとに一喜一憂の歓声が上がりました。

成績は次のとおり。

男子優勝	下地武四郎	三三打
二位	名嘉地長昭	三三打
三位	牧 純男	三五打
女子優勝	根間 照子	三六打
二位	上地 美智枝	三九打
三位	川満 英子	三九打

その他に、ホールインワン賞・ラッキー賞・当日賞・ブービー賞・最高齢者へ健康賞が贈られました。最後は参加者全員(四二名)に参加賞が手渡され、無事終了しました。次号に写真を掲載する予定です。

会員の皆さんへ(センターからのお知らせ)

厚生労働省より会員の適正な就業の確保に

向けた取り組みを確実に行うように、「適正就業ガイドライン」の指導をして下さいとの依頼がありました。

ガイドラインの説明は、今後機会を設けて実施することとします。

広報からの一言

部会長 崎山 市次



今年も余すところ二ヶ月余となりました。馬齢を重ねると、月日が経つのが早く感じます。会員の皆様には、各分野で安全・適正就業を念頭に、

日々ご活躍のことと思います。

ご承知のとおり、近年少子・高齢化が進展して、労働力も減少傾向にあり、また働く能力のある人は働くという生涯現役社会の実現に向けて、活発に議論されているところです。

こうしたことから、今後シルバー人材センターの役割はますます重要になってくるものと思えます。石垣市シルバー人材センターの一層の発展のために、会員相互の理解と協力が必要と思えます。又、事業計画等について皆様の忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

今回の広報紙は、平成二七年度の事業実施報告、安全・適正就業推進大会、普及啓発活

動等を中心に編集しました。

現在、平成二八年度事業を推進しているところでありますが、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

委嘱状の交付

平成二八年度シルバー人材センター専門部会

去る九月二十九日に、シルバー人材センター専門部会員に対する委嘱状交付が行われ、次の皆さんが選任されました。

●総務部会

部会長 橋本 裕子
副部会長 請盛 スミ

下地 勝
古見 八重子
上地 美智枝
大城 弘

●事業部会

部会長 辻野 信行
副部会長 次呂久 功

中川 栄治
田村 治義
赤嶺 ヨシ子
仲大盛 有貴江

●広報部会

部会長 崎山 市次
副部会長 中嶋 将博
幹事 大浜 勝彦
平地 明美

活動計画

●総務部会

会員交流事業

シルバー人材センター事業意見交換及び懇親会

●事業部会

シルバー人材センター普及啓発事業

●広報部会

シルバー便り発行 年度二回
各部会の年間計画

編集後記

この度、広報誌「いしがき」の紙面を一新して、経費の縮減に努めると共に、広報部会の手作りとすることで、会員各位の活発な参加を求めることになりました。

手始めに、会員の趣味を紹介したり、会員の声を載せたいと考えています。今後は皆さんのご意見を伺いながら、いろいろな広報に努めたいと思いますので、皆さんのご協力によるしくお願いいたします。

広報部会

崎山 市次
中嶋 将博
大浜 勝彦
平地 明美

>編集発行< 公益社団法人

石垣市シルバー人材センター

〒907-0002

沖縄県石垣市真栄里402番地

TEL 0980-83-8439

FAX 0980-83-8459